



## ライン アピアランス

---

ライン アピアランスとは、デバイスに対する回線のつながりを意味します。現在のエンド ユーザは、回線ではなくむしろラインアピアランスにリンクされていると言えます。

以前は、シェアドラインなどの関係について詳細なプレゼンス情報が CUP に提供されなかったため、プレゼンスの状態が不正確または不完全になっていました。ライン アピアランス機能を使うと、1 人のユーザに複数のラインアピアランスが関連付けられている場合、詳細な情報を提供できます。

BAT の [ラインアピアランス] メニューを使用して、ライン アピアランスをエクスポートおよび更新できます。

- [ラインアピアランスのエクスポート](#)
- [ラインアピアランスの更新](#)

### ライン アピアランスのエクスポート

複数のレコードに対応できるように、Cisco Unified Communications Manager では、固有の検索条件に基づいて特定のレコードを探し出すことができます。レコードを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

ブラウザセッションの作業中、検索 / 一覧表示の検索プリファレンスはクライアントマシンのクッキーに格納されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻った場合、またはブラウザを閉じてから新しいブラウザ ウィンドウを再度開いた場合、検索を変更するまで Cisco Unified Communications Manager 検索プリファレンスが維持されます。

ラインアピアランスをエクスポートする手順は、次のとおりです。

#### 始める前に

1. エクスポートするラインアピアランスの詳細が記載されたテキスト ファイルを作成します。
2. カスタム ファイルを Cisco Unified Communications Manager の最初のノードにアップロードします。詳細については、[P.2-4](#) の「[ファイルのアップロード](#)」を参照してください。

## 手順

**ステップ 1** [一括管理] > [ユーザ] > [ラインアピアランス] > [ラインアピアランスのエクスポート] の順に選択します。

[ユーザエクスポートのクエリー] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 3](#)に進みます。

レコードをフィルタまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウンリストボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウンリストボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**(注)** 他の検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加した場合、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして、最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加した検索条件をすべて削除します。

**ステップ 3** [検索] をクリックします。

すべてのレコードまたは一致するレコードが表示されます。各ページに表示される項目の数は、[ページあたりの行数] ドロップダウンリストボックスで異なる値を選択して変更できます。



**(注)** 複数のレコードをデータベースから削除するには、該当するレコードの横のチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除] をクリックします。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択内容の設定可能なすべてのレコードを削除できます。

**ステップ 4** 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



**(注)** ソート順序を逆にするには、リスト ヘッダーの上向き矢印または下向き矢印をクリックします (ある場合)。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

**ステップ 5** [次へ] をクリックします。[ラインアピアランスのエクスポートの設定 (Export Line Appearance Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 6** [ファイル名 (File Name)] フィールドにカスタム ファイルのファイル名を入力します。

**ステップ 7** [ファイル形式 (File Format)] ドロップダウン リスト ボックスでファイル形式を選択します。デフォルトでは、「Line Appearance Format」が選択されています。

**ステップ 8** 次のチェックボックスの 1 つ以上をオンにします。

- [CUP ユーザのラインアピアランスのみエクスポート (Export line appearances for CUP Users only)] : CUP ユーザに対してのみエクスポート操作を実行します。
- [すべてのプライマリ内線のラインアピアランスのエクスポート (Export line appearances for all the primary extensions)] : ユーザが関連付けられた回線を共有するすべてのデバイスのラインアピアランスをエクスポートします。
- [関連付けられているデバイスのラインアピアランスのエクスポート (Export line appearances for the devices associated)] : ユーザが関連付けられたデバイスを共有するすべての回線のラインアピアランスをエクスポートします。

**ステップ 9** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 10** [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックしてパスワードまたは PIN を即座に変更するか、[後で実行] をクリックして後で変更します。

**ステップ 11** [送信] をクリックして、ラインアピアランスをエクスポートするジョブを作成します。

**ステップ 12** [一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 64 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

**ステップ 13** ログ ファイルの詳細については、[P.65-4 の「BAT ログ ファイル」](#) を参照してください。ログ ファイルには、更新されたユーザ数と失敗したレコード数 (エラー コードを含む) が示されます。

---

### その他の項目

詳細については、[P.23-5 の「関連項目」](#) を参照してください。

## ラインアピアランスの更新

### 始める前に

1. 更新するラインアピアランスについて次の詳細を記載するテキストファイルを作成します。
  - ユーザ ID
  - デバイス
  - 電話番号
  - パーティション (オプション)
2. テキストファイルで1行に1項目ずつ配置します。
3. カスタムファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバにアップロードします。ファイルのアップロードの詳細については、[P.2-4](#) の「[ファイルのアップロード](#)」を参照してください。

カスタムファイルに記載されているラインアピアランスを更新する手順は、次のとおりです。

### 手順

---

**ステップ 1** [一括管理] > [ユーザ] > [ラインアピアランス] > [ラインアピアランスの更新] の順に選択します。

[ラインアピアランスの更新の設定 (Update Line Appearance Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [ファイル名] ドロップダウンリストボックスから、カスタムファイル名を選択します。

**ステップ 3** CUP ユーザのラインアピアランスのみを更新する場合は、[CUP ユーザのラインアピアランスのみ更新 (Update line appearance for CUP users only)] チェックボックスをオンにします。

**ステップ 4** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 5** [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックして電話機レコードを即座に削除するか、[後で実行] をクリックして電話機レコードを後で削除します。

**ステップ 6** [送信] をクリックして、電話機レコードを削除するジョブを作成します。

**ステップ 7** [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウで、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 64 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログファイルの詳細については、[P.65-4](#) の「[BAT ログファイル](#)」を参照してください。

---

### その他の項目

詳細については、[P.23-5](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [ラインアピアランスのエクスポート \(P.23-1\)](#)
- [ラインアピアランスの更新 \(P.23-4\)](#)

